



報道資料

ウォレマイ・パイン (学名ウォレミア・ノビリス *Wollemia nobilis*) はナンヨウスギ科の一種で、2億年前の恐竜の時代に既に生存していたと考えられている。この木は世界で最も古く、最も稀少な樹木の一つである。1994年のシドニーのブルー・マウンテンでの発見は、こんにち、生きた恐竜を発見するに匹敵するほどの人類史上重要な植物上の発見である。それ以前は、ウォレマイ・パインは化石の記録が残っているだけで絶滅したと考えられていた。

シドニー王立植物園は、NSW 国立公園野生生物局との共同「ウォレマイ・パイン再生計画」への取り組みの一環として、ウォレマイ・オーストラリア (クィーンズランド州政府第一次産業省 (林業) とパークデーブル・ナーサリーで構成されている) にウォレマイ・パインの繁殖と市場取り引きの許可を与えた。2005年から2006年にウォレマイ・パインの販売が始まる際、そこから得られる販売権料はウォレマイ・パインやその他の絶滅危惧希少種の保護に運用される。この木を世界中の家庭や庭園、公園で育てることで、絶滅から救い、許可なく人々が野生種の群生地に入り込む危険性を最小限にとどめることができる。

ウォレマイ・パインは、野生では幹の直径が1mを越え、高さ40mまで達する雄大な針葉樹である。多くは複数の幹を持つ。珍しく垂れさがった葉は春になると先端が淡いアップルグリーン色になり、初夏にはそれが古い深緑色の葉と対照をなす。その他のユニークな特徴としては、成長すると枝葉には枝に沿って2列の葉ができるという枝の分かれ方にある。樹皮も同類種の樹木とは全く異なり、ちょうど表面が泡立ったチョコレートのように見える。

ウォレマイ・パインは、マイナス5度から45度までの気温に耐えることができる耐寒性のある植物である。光の少ない環境でも生育するため、室内装飾、公園や庭園のシンボルツリーとしても理想的である。また、特別な時のユニークなギフトや、クリスマスツリーにも最適である。

2005年から2006年にオーストラリア国内、及び海外でウォレマイ・パインが一般に販売されると、多くの申込みが予想されるため、購入希望者はホームページ：www.wollemipine.com のウォレマイ・パイン保護クラブに購入の意志を登録することをお勧めする。登録した方には最新情報と研究結果をまとめた年4回のEメールニュース、更に発売日間近には購入方法の詳細情報が送られる。

現在、ウォレマイ・パインはオーストラリア国内の以下の場所で見ることができる。王立植物園 (ニューサウスウェールズ州シドニー)、マウント・アナン植物園 (ニューサウスウェールズ州シドニー南西部)、マウント・トマー植物園 (ニューサウスウェールズ州ブルー・マウンテン)、タロンガパーク動物園 (ニューサウスウェールズ州シドニー)、アデレード植物園ノーステラス (サウスオーストラリア州アデレード)、マウント・ロフティー植物園 (サウスオーストラリア州クレーファーズ)、オーストラリア国立植物園 (オーストラリア首都特別地域、キャンベラ)、キングスパーク植物園 (西オーストラリア州パース)、王立タスマニア植物園 (タスマニア州ホバート)

問合せ先:

日本:
アップストリームアジア・ジャパン
塚原 薫 (ツカハラ カオル)
kay@upstreamasia.com
Tel: 03-3568-1215

オーストラリア:
Wollemi Pine International
Sally McGeoch (サリー・マギオフ)
sally@wollemipine.com
Tel: +61-438-153-655

www.wollemipine.com